

アジア学科では下記のようなセミナーを企画しています。年度末でお忙しい頃とは存じますが、是非足をお運びください。

セミナー「“国民国家” インドネシア再考」

南山大学外国語学部アジア学科主催、南山大学アジア・太平洋研究センター／科研 C「植民地末期インドネシア・ムスリムの国際関係認識」／東南アジア学会中部例会共催
於 南山大学名 Q51・52 会議室

3月17日

13時 開会 趣旨説明：小林寧子（南山大学）

13時10分—16時15分

第1セッション：「国民国家」をめぐる思索 司会：貞好康志（神戸大学）

趣旨説明：小林寧子

「イスラームとナショナリズム：『ビンタン・イスラーム』（1923-1930）を読み解く」
小林寧子

「オランダ植民地末期ナフダトゥル・ウラマーによる“イスラーム国家論”：
伝統派ムスリムにおける改革主義の影響」

山口元樹（東洋文庫研究員）

「ナショナルヒストリーと“国民”の創出：

日本占領期インドネシアで刊行された歴史書を手掛かりに」

姫本由美子（立教大学アジア地域研究所特任研究員）

コメント：青山 亨（東京外国語大学）

16時30分—17時50分 特別講演

"Local, national and transnational Islam in Indonesian history"

Martin van Bruinessen 博士（ユトレヒト大学名誉教授）

18時 懇親会

3月18日

9時—12時10分

第2セッション：独立後国家建設の混乱 司会：間瀬朋子（南山大学准教授）

趣旨説明：小林寧子

「スカルノが描いた〈建設(プンバングナン)〉の夢：1950年代後半～1960年代半ば」
加藤 剛（京都大学名誉教授）

「マフィリンド構想の挫折とボルネオ分断：旧ブルンガン王国の経験から」
奥島美夏（天理大学）

「“楽園”に潜む対立の歴史：バリ島ジェンブラナにおける1965年の虐殺」
倉沢愛子（慶応大学名誉教授）

コメント：岡本正明（京都大学）

13時20分—16時25分

第3セッション：インドネシア華人史の再構築 司会：森山幹弘（南山大学）

趣旨説明：津田浩司

「客家系商人とアジア域内貿易」

工藤裕子（東洋文庫研究員）

「『共栄報』と日本軍政下の華僑社会」

津田浩司（東京大学）

「インドネシアの華人理解の特色：

インドネシア出身の中国・華人研究者への聞き取りに基づく考察」

松村智雄（法政大学）

コメント：貞好康志

16時40分—17時 総括コメント

青山 亨

岡本正明

準備の都合上、参加される方はお知らせください。また、その際に懇親会（17日）への参加・昼食（18日、数に限りがあります）が必要かもお知らせください。

連絡先：南山大学外国語学部アジア学科合同研究室

dpt-ajia@nanzan-u.ac.jp

南山大学外国語学部アジア学科主催、アジア・太平洋研究センター、
科研C「植民地末期インドネシア・ムスリムの国際関係認識」、
東南アジア学会中部例会共催セミナー

2019年3月17日（日）13:00～18:00

第1セッション：「国民国家」をめぐる思索

発表 小林寧子（南山大学教授）
山口元樹（東洋文庫研究員）
姫本由美子（立教大学アジア地域研究所特任研究員）

特別講演

“Local, national and transnational Islam in Indonesian history”

Martin van Bruinessen（ユトレヒト大学名誉教授）

2019年3月18日（月）9:00～17:00

第2セッション：独立後国家建設の混乱

発表 加藤 剛（京都大学名誉教授）
奥島美夏（天理大学准教授）
倉沢愛子（慶應義塾大学名誉教授）

第3セッション：インドネシア華人史の再構築

発表 工藤裕子（東洋文庫研究員）
津田浩司（東京大学准教授）
松村智雄（法政大学講師）

討論 青山 亨（東京外国語大学教授）
岡本正明（京都大学教授）
貞好康志（神戸大学教授）

「国民国家」インドネシア再考

会場：南山大学 Q棟5階51, 52会議室

問合せ先：南山大学アジア学科合同研究室
〒466-8673名古屋市昭和区山里町18番地
Phone: 052-832-3111(代表)
E-mail: dpt-ajia@nanzan-u.ac.jp

講演会のwebサイトに
アクセスできます→

